

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年6月17日(2021.6.17)

【公開番号】特開2019-208853(P2019-208853A)

【公開日】令和1年12月12日(2019.12.12)

【年通号数】公開・登録公報2019-050

【出願番号】特願2018-107294(P2018-107294)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/16

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月28日(2021.4.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

超音波を用いて被検眼の眼圧を測定する超音波眼圧計であって、
前記被検眼に対して超音波を照射する照射手段と、
前記照射手段によって前記被検眼に照射される超音波を抑制する抑制手段と、
を備えることを特徴とする超音波眼圧計。

【請求項2】

前記抑制手段の駆動を制御する制御手段をさらに備えることを特徴とする請求項1の超音波眼圧計。

【請求項3】

前記制御手段は、前記照射手段の出力が所定になったと判定した場合、前記抑制手段による抑制を解除することを特徴とする請求項2の超音波眼圧計。

【請求項4】

前記制御手段は、所定の出力で前記被検眼に超音波を照射した後、前記抑制手段による抑制を開始させることを特徴とする請求項2の超音波眼圧計。

【請求項5】

超音波を用いて被検眼の眼圧を測定する超音波眼圧計であって、
前記被検眼に対して超音波を照射する照射手段と、
前記照射手段を内部に収容する筐体において前記照射手段の照射経路上に設けられた開口部の少なくとも一部を遮蔽する遮蔽手段を備えることを特徴とする超音波眼圧計。

【請求項6】

前記遮蔽手段は、前記照射手段を保護するための保護手段として兼用されることを特徴とする請求項5の超音波眼圧計。